

デイケア通信

台風の接近や天候の安定しない日が続きました。暑さも徐々に本格的になってきそうです。ご利用者様の体調にも気を配りながらお過ごし頂けるようにしていきたいと思えます。

先月の活動の様子

・看護の日 看護学生ハンドベル演奏交流会！

諏訪赤十字病院看護専門学校の生徒が看護の日のイベントとして来所してくださいました。ハンドベルの演奏ではご利用者様に馴染みのある曲など披露してくださいました。ご利用者様とも会話をしたり笑顔あふれる交流会となりました。



リハビリ紹介

理学療法士の吉澤です。今回は、入所にてリハビリを実施し、在宅に復帰され通所利用へ繋がったA様の紹介をします。

A様は、入所当初骨折や麻痺によるADL低下、歩行能力低下がございましたが、「自宅では歩いて生活したい」と希望が聞かれました。そのため、麻痺側の耐久性向上、下肢の筋力向上、歩行能力向上を目標に実施していきました。A様は、麻痺の影響で歩行や立位動作でふらつきやすいです。また、既往に心疾患があり血圧の変動がありますが、A様には自覚症状がなく無理をされがちです。

在宅復帰に向けて、A様同行の上、他職種とともにご自宅訪問を実施しました。A様の「歩いて生活したい」という目標に対して、リハビリを実施していきましたが、ふらつきが認められた為、ピックアップ型歩行器を選定し歩行練習を実施していきました。それにより、ご自宅での移動は、ご家族付き添いのもと歩行器歩行が可能となりました。また、ご家族には、心疾患による血圧の変動があり、自覚症状もない為、無理をして動いてしまい転倒などのリスクがある事をお伝えし、無理せず車椅子の併用もご提示していきました。トイレ動作に対しては、片手で下衣更衣が行える能力はありましたが立位バランスが思うように向上せずA様からも介助の訴えや恐怖心も聞かれていました。そのため、ご自宅ではご家族に介助して頂く様にご指導しました。

現在では、ご家族のご協力もあり、通所に通いながら在宅生活を行う事が出来ています。

